

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	株式会社フレッシュカット信(仮称) 東区 松島3-4-2 法22条区域 事務所、工場 2013年10月 予定 14,876.07 m <sup>2</sup> 4,452.10 m <sup>2</sup> 5,483.96 m <sup>2</sup> 地上2F S造 実施設計段階評価 2013年4月1日	
---	---	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	<b>B+</b>	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46}{32} = 1.4$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.8		バリアフリー	1.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.4
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	1.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

- ・ビニル巾木の採用や床仕上げの異なる部分にSUS目地棒を設置するなど、維持管理に配慮した設計としている。
- ・外皮の断熱強化により、建物の熱負荷抑制に努めている。
- ・リサイクル材の採用により、非再生性資源の使用量削減を図っている。
- ・LGS下地により躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。

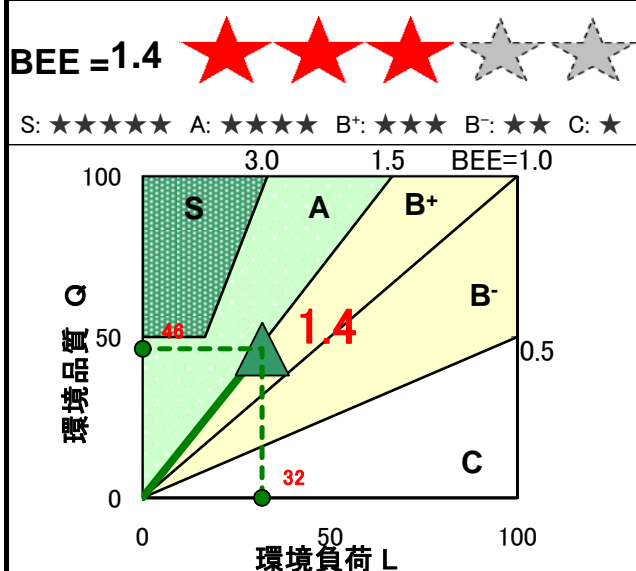
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

# CASBEE®新潟

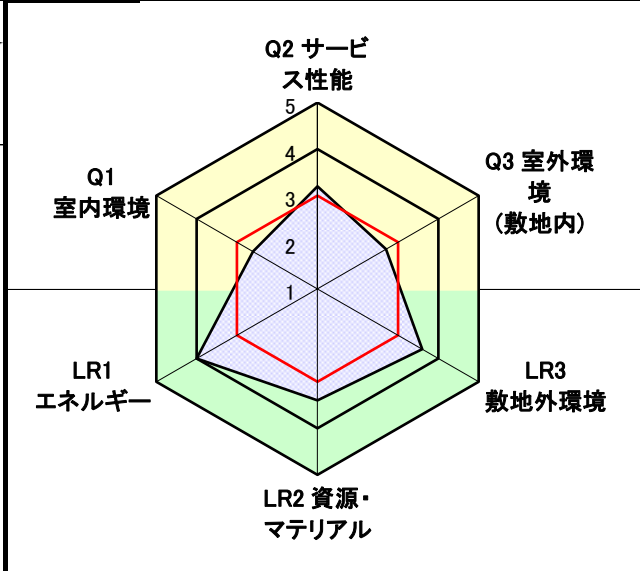
# 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

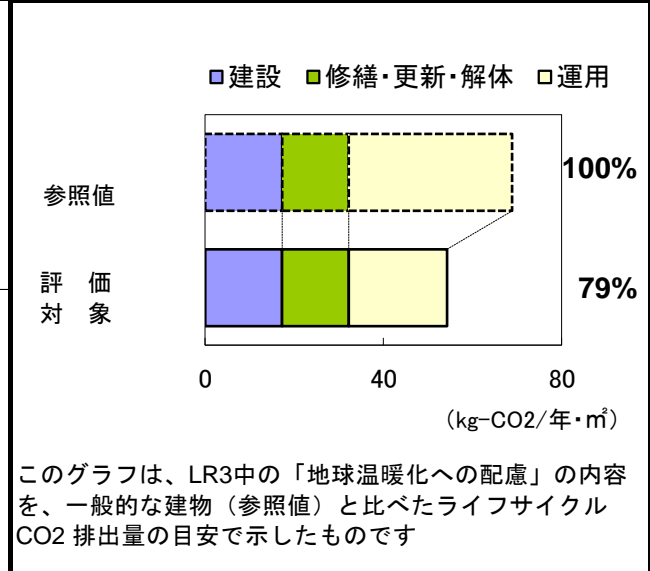
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



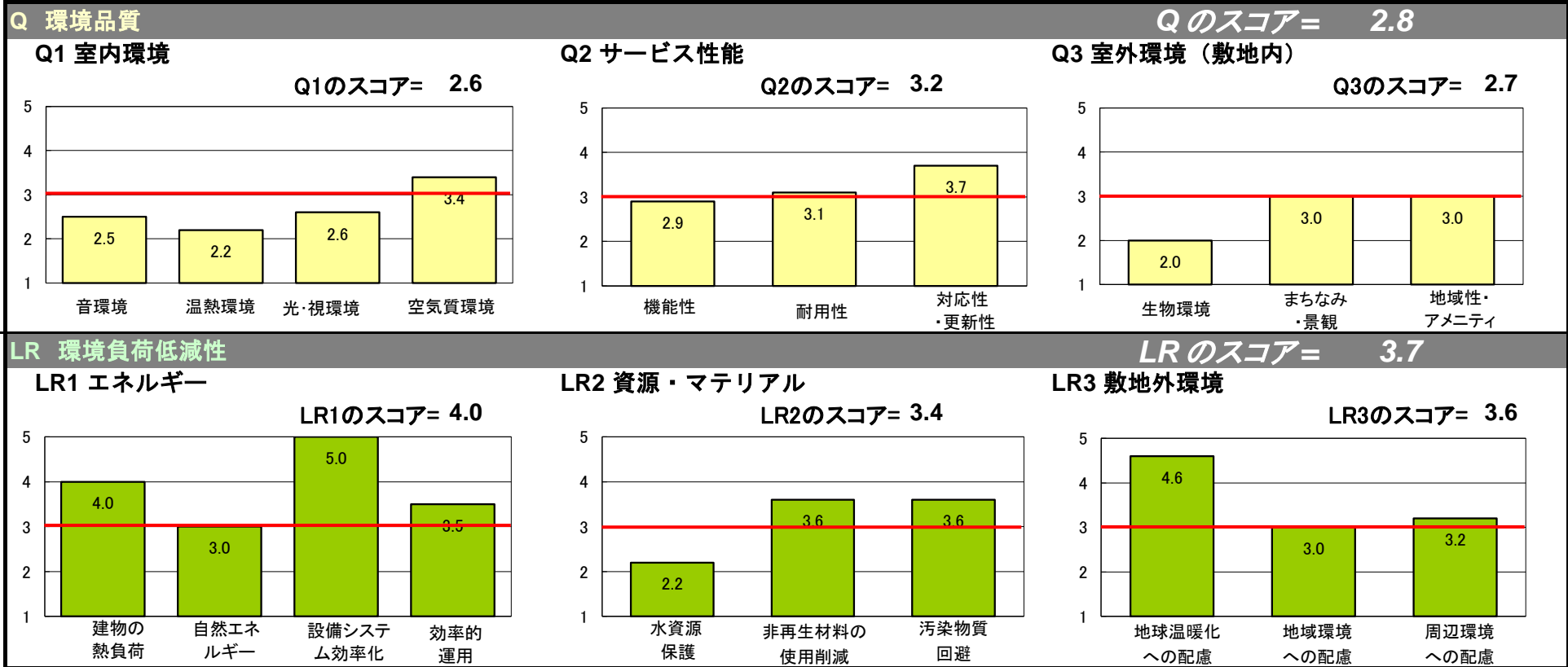
## 2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 2-5 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 長寿命・軽環境負荷・快適性をコンセプトに、使用材料の再生性、耐久性、および隣地や周辺への配慮、ランニングエネルギーの低減、作業時の必要高さや休憩時の開放感を建物にインストールした従来にない食品工場を目指した。	<b>その他</b> -
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆建材の採用や給気口の設置位置への配慮により、空気質環境の向上を図っている。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高2.7mの事務室やリフレッシュスペースの確保により、快適性の向上を図っている。また、耐用年数の長い建材等の採用により、建物の長寿命化を図っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮の断熱強化により、建物の熱負荷抑制に努めている。また、LEDランプ等の採用により、消費エネルギー量の削減に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材の採用により、非再生性資源の使用量削減を図っている。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 外皮の断熱強化やLEDランプ等の採用により、LCCO <sub>2</sub> 排出量の削減に努めている。
	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地外周部に緑地を配置し、周辺との調和に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される